

事業実績書

団体名	名田島自治会連合会
-----	-----------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

地域住民及び各種団体が連携・協力して、第3次名田島地区協働のまちづくり計画を推進します。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	名田島の情報を共有し、良さをアピール		
	事業名	名田島のPR事業	決算額	676, 694
②	視点	名田島に新しい魅力を創出し、地区内外に発信		
	事業名	名田島地区フットパスの構築	決算額	252,208
③	視点	自治会活動の活発化		
	事業名	一集落一事業	決算額	121, 105

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①広報媒体の特性を活かして、それぞれの方法で地域づくり活動の取り組み状況や情報を定期的に発信し情報の共有に努めた。年3回発行している広報紙「田園」では記憶に残る編集を行っているが、今後は、読者からの投稿を模索したい。また、ホームページでは定期的に発行している各種の広報紙や最新の行事予定を掲載しているので閲覧者増の周知に努めたい。	◎
②名田島地区の交流人口と地区内外の名田島ファンを増やす目的で取り組んでいる「フットパスコース」は、新たに島・東開作・西開作コースのパンフレットを作成して名田島地区民限定でお披露目イベントを開催することができた。今後は、新たに新開作・昭和コースの設定を加速し名田島地区全体のコース設定を完成したい。なお、山口市の委託事業である「ヘルシーウォーキング名田島」を開催し、地区内外から47人の参加者で既存の「向山コース」を散策し田園風景や小径を楽しみながら心身共にリフレッシュと健康増進を図ることができた。	○
③単位自治会が行う自主的活動に対して経費の一部を助成する事業について本年度は新たに2集落が取り組んだ。この事業を通じて伝統行事等の継承につながり、また、事業の検討や実施を通じて集落内の連帯感が深まった。今後は、未実施集落の取り組み促進のため事業の周知を図りたい。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

令和2年度から3年間続いた新型コロナウイルス感染症の影響で実施期間を1年間延長した「第3次名田島地区協働のまちづくり計画」は令和5年度で終了した。最終年の中で、広報活動や小学校芝生の定期的な維持管理作業は予定どおり実施し情報発信や良好な芝生を提供することができた。また、3年ぶりに自主防災訓練・防災講演会・避難マップ策定演習・炊き出し訓練を行い、従前の情報伝達訓練と併せて実施し防災意識の高揚に努めた。名田島地区の交流人口と地区内外のファンを増やすことを目的としたフットパス事業については名田島地区民限定でイベントを実施したが、今後は地区内外からの参加者でイベントを実施したい。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	3, 805, 646円(自主財源 82, 061円)
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1名、事務員2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 円滑な事務局運営が出来た。 (今後に向けて) 第4次名田島地区協働のまちづくり計画の具体的推進のため各委員及び各種団体並びに地域の方々と一層の連携を深め情報交換や交流を深めた。

(2) 地域振興

事業名	一集落一事業
事業費	121, 105円
事業概要	(実施内容) 単位自治会の行う自主的な活動に対して、その経費の一部を助成する。 (実施時期) 8～1月 (参加人数) 7集落自治会 (成果) 集落における連帯感が生まれた。 (評価) 伝統行事等を通じて次世代に伝える事業が展開された。 (今後に向けて) 各集落自治会の事業参加促進を図りたい。

事業名	広報活動
事業費	676, 694円
事業概要	(実施内容) ①総会資料 ②広報紙「田園」 ③「自治会連合会だより」による会議等の結果報告 ④ホームページの拡充・フェイスブックの定期的な更新 ⑤iPadを活用して名田島の姿をPR (実施時期) ①4月 ②年3回(7・11・3月) ③毎月1回 ④⑤随時 (参加人数) 地区内外多数 (成果) ①～③全世帯配付(約500戸) ④随時更新 ⑤随時使用 (評価) ①～③自治会連合会の活動状況等を地区民に周知し情報共有に努めた。 ④⑤ホームページの拡充を図るとともに、フェイスブックにより地域イベントや映えスポットをリアルタイムに発信し閲覧者(定期フォロワー155人)の拡大に努力した。 (今後に向けて) 更なる内容の充実に努め情報発信を図りたい。

事業名	イベント補助
事業費	233, 417円
事業概要	(実施内容) ①地区民体育大会 ②ちょうちんちょこつとまつり ③ふるさとまつり (実施時期) ①休止 ②7月22日 ③11月26日 (参加人数) ①休止 ②約600人 ③約850人 (成果) ①休止 ②③コロナ禍前の規模で開催することができた。 (評価) ②③昨年は3年ぶりに開催され、今年も各種団体等の協力によりノウハウの継承も行われておりスムーズに運営された。 (今後に向けて) 地域の主要なイベントを通じて地域振興の推進を図る。

事業名	第3次計画推進費
事業費	252, 208円
事業概要	(実施内容) ①フットパス「島・東開作・西開作コース」のパンフレット完成 ②フットパス「島・東開作・西開作コース」の第1回イベント開催 (実施時期) 4月～1月 ②3月3日 (参加人数) ①生涯学習部会員 ②42名 (成果) ①生涯学習部会第1班が中心となってパンフレットが完成した。 ②コース改善策の検討のため、名田島地区民限定で実施した。 (評価) ①生涯学習部会第1班が中心となり実施し効率的な作成作業となった。 ②参加者全員からアンケートを実施した結果、今後の事業実施の参考となった。 (今後に向けて) ①今までの経験を生かし「新開作・昭和コース」新設に取り組みたい。 ②既存の「向山コース」、「島・東開作・西開作コース」について地区内外の参加でイベント開催に努める。

事業名	第4次計画推進費
事業費	41, 360円
事業概要	(実施内容) 令和6年度からスタートする「第4次名田島地区協働のまちづくり計画」の策定 (実施時期) 通年 (参加人数) 作業部会、策定委員会、住民アンケート(全世帯) (成果) 「第4次名田島地区協働のまちづくり計画」を策定し総会において審議決定する。 (評価) 山口学芸大学の協力を得て住民アンケートの集計と分析や地域課題提起等の提言を受け多角的に策定することができた。 (今後に向けて) 各種団体等と協議を重ね情報共有に務め、まちづくり計画の推進に取り組みたい。

(3) 地域福祉

事業名	健康増進活動補助
事業費	292, 442円
事業概要	(実施内容) ①健康相談会 ②健康チャレンジウォーキング ③地域版チャレンジデー2023 (実施時期) ①5～3月 ②11月1日 ③8月19日 (参加人数) ①13集落 ②27人 ③220人 (成果) ①健康チェックや講話等を通じて生きがいと健康づくりにつながった。 ②屋外活動を通じて心身共にリフレッシュする機会となった。 ③4年ぶりに復活開催した。 (評価) ①各集落の自治会長・民生委員・福祉員等が一体となって取り組んだ。 ②健康維持と共に楽しい交流の場となった。③ラジオ体操と、今回は名田島 小学校開校150周年記念人文字航空写真撮影会を実施し盛り上がった。 (今後に向けて) 関係機関と調整を図り、それぞれの目的に沿った事業を継続し 交流の場としたい。

事業名	世代間交流
事業費	109, 160円
事業概要	(実施内容) ①三世代交流新春合同事業 ②あるけあるけ大会 (実施時期) ①1月8日 ②中止 (参加人数) ①約180人 ②中止 (成果) ①どんど焼き、七草・七穀がゆ、消防講習会に加えて、餅つきが復活した。 (評価) ①各世代の方々が参加し、世代間交流が図られた。 (今後に向けて) ①新春の定着した行事として継承していく。

事業名	子ども健全育成事業補助
事業費	153, 627円
事業概要	(実施内容) ①子ども見守り活動 ②中学生安全チョッキ購入 ③にこにこ学級 ④コミクラ活動 (実施時期) ①②③通年 ④中止 (参加人数) 対象者 (成果) 各種の助成等を通じて、元気な子どもの健全育成に貢献できた。 (評価) 各種の助成活動を継続することにより安心して通学できる環境が図られた。 (今後に向けて) 子ども達の健全育成の環境整備に努めたい。

(4) 安心・安全

事業名	地域防災活動の促進
事業費	184, 427円
事業概要	(実施内容) ①防災訓練の実施・避難情報伝達訓練 ②災害避難アプリ維持・改善、普及 ③防災資機材の備蓄と点検 (実施時期) ①8月27日 ②1月26日 ③通年 (参加人数) ①137人・449戸 ②1月26日改善発表会 ③通年 (成果) ①4年ぶりに開催できた。・今年も継続実施できた。②改善状況の確認ができた。③備蓄状況等の確認ができた。 (評価) ①避難訓練や講演会を通じて防災意識の再確認ができた。・13集落の全てが参加し情報伝達網を再確認できた。②災害避難アプリの関心が深まった。③保管場所及び数量等の確認ができた。 (今後に向けて) ①今後も防災意識の高揚に努めるため地域全体の防災訓練等を実施していく。②引き続き山口学芸大学と連携し維持・改善、普及に努めたい。③災害非常時に対応するため日常の点検と改善に努めたい。

事業名	交通安全対策
事業費	0円
事業概要	(実施内容) (実施時期) 今年度は、カーブミラー設置の申請は行われなかった。 (参加人数) ー (成果) ー (評価) ー (今後に向けて) 周知を行い、危険個所の解消に努めていく。なお、道路法に基づく許可条件である設置者の維持管理(責任)対策に苦慮している状況である。

(5) 環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	1, 829, 000円
事業概要	(実施内容) 法定外公共物の整備 (実施時期) 令和5年12月～令和6年2月 (参加人数) 集落自治会が工事業者に発注 (成果) 水路(改修)2件 (評価) 水路の機能回復が図られた。 (今後に向けて) 今後も集落要望を受けて対応する。

事業名	地域環境づくり
事業費	71,700円
事業概要	(実施内容) ①有害鳥獣駆除 ②有害鳥獣捕獲等支援事業 ③生活環境事業 (実施時期) ①狩猟期間及び捕獲許可期間 ②通年 ③2月 (参加人数) ①②山口県吉南猟友会名田島支部2名 ③集落自治会が工事施工業者に発注 (成果) ①山口県吉南猟友会名田島支部に捕獲器(箱なわ)10基を貸与し、また、山口市有害鳥獣捕獲対策協議会から鳥獣被害対策用な開閉検知システムの貸出を受けた結果19頭のイノシシを捕獲した。②免許取得(更新)及び捕獲通信システム通信料の助成を行った。③水路の応急修理を行い生活環境の向上に寄与した。 (評価) ①農作物被害の低減と農地の保全及び耕作環境づくりの推進に寄与した。②経費の一部助成を行い負担軽減が図られた。③予算内で早期対応ができた。 (今後に向けて) ①山口県吉南支部と緊密に連絡調整を行い継続する。②狩猟免許等の周知を図り資格取得者の拡充を図りたい。③集落要望を検討し早期対応する。

事業名	地域環境美化
事業費	117,896円
事業概要	(実施内容) ボランティアクラブとPTAが協働して児童や生徒の通学路の草刈りを実施 (実施時期) 5月13日、7月16日、11月4日 (参加人数) 5月=25人、7月=26人、11月4日=26人 (成果) 草刈り等により見通しが良くなり、防犯・交通安全上にも効果があった。 (評価) 榎野川沿いと南若川沿いの通学路を定期的に清掃し、地域の環境美化につながっている。 (今後に向けて) 広報誌等を通じて新規会員の加入促進を図りたい。

(地域個性創出)

事業名	ふるさと大学の開講
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 中止 (実施時期) 中止 (参加人数) 中止 (成果) 中止 (評価) 中止 (今後に向けて) 講師の選定を加速し事業継続したい。

事業名	小学校芝生化グラウンドの利用促進事業
事業費	212, 379円
事業概要	(実施内容) 定期的な維持管理作業(芝刈り・施肥・散水・冬芝播種・砂入れ等) (実施時期) 通年 (参加人数) 302人 (成果) 芝生の維持管理作業が定着している。また、5・6年生による芝刈り体験を通じて芝生の感触を楽しみ芝生を再認識する機会となっている。 (評価) 地域のボランティアで構成される名田島しばもり隊の努力により適性に管理されており、良好な芝生を提供することができた。 (今後に向けて) 今後も適切な管理に努め、地域住民の交流の拠点となるよう更なる利活用を図っていきたい。なお、名田島しばもり隊の高齢化が進んでおり隊員の更なる募集や獲得を強化する必要がある。